

製材業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故 故の 型	労働者 規模
2017	1	14～ 15	回転していたローラーを右手で掴んだときに回転が止まり、被災者はローラーを掴んだままガタを説明しようとしたがローラーが回転し、架台、コンベアベルト、ローラーの間に右手を挟まれて被災した。	43	224	7	50 ～ 99
2017	1	22～ 23	当社工場内において、原木皮剥ぎ機での作業中、ステップ部で丸太が落下しそうになるトラブルが発生したため、手で丸太を直そうとしたところ、丸太とライン上にあるガイドに右手小指を挟み負傷した。	30	522	7	100 ～ 299
2017	1	15～ 16	工場内でトラックに材木の荷積み作業中、当該荷材をトラックに固定するため、万力結び（輸送結び）を施して、仕上げに当該ロープを力いっぱい引っ張ったときに、結び目が解けて肩に違和感を感じ負傷した。	60	379	19	10 ～ 29
2017	1	9～ 10	高さ300mmの台車に乗った木質パネルを、2名でパネル上部と下部をそれぞれ持ち、同じ高さの台車に乗せ替え作業を行っていた時に、片方を持っていた作業者の腰に痛みが発生して動けなくなり、救急搬送された。	37	522	19	10 ～ 29
2017	1	16～ 17	工場内で出荷準備中、厘木（りんぎ）を踏んでしまい、踏み外して足をひねり骨を痛めた。厘木は製品を置く枕木で必要不可欠であり、常に同じ状態にある。被災労働者はベテランで厘木の位置も熟	40	416	2	10 ～ 29

			知しており、不安全または有害な状態は無かった。				
2017	1	14～15	工場屋根の上に設置してあるオガくず吸い上げパイプが詰まったため、屋根に登りパイプをはずして作業していたところ、足を滑らせて転落した。	59	415	1	1～9
2017	1	9～10	木製品をトラックより荷降ろし中、リフトが抱えて方向転換をした際、リフトがバランスを崩し、前方へ倒れようとしたため、一旦そのまま地面へ下げ、地面との間にリン木を差し込もうとしていた。前方に差し込もうとリフトの爪先を上げてリン木を差し込んだ時、リフトが前方へバランスを崩し、製品とリン木との間に左手人差し指が挟まり負傷した。	59	222	7	30～49
2017	2	8～9	休憩所から作業場へ向かう途中、通行路内に於いて、凍結した路面に足を取られ転倒し、左第8肋骨を骨折した。	60	719	2	10～29
2017	2	10～11	軽便送材車で、杉丸太3m32cmを製材中、丸挽にして小割までを作業していて最後の1枚を裏返した時、ヘッドブロックの台座の角と木材に親指第一関節から先を挟まれた。	69	522	7	—
2017	2	14～15	当社道作工場内において、木材製品の整理作業をしていた時、製品を乗せる台木（約100mm角）に右足を乗せてしまい、その拍子に体がよろけ、そばに積み重ねてあった（約1200mmの高さ）木材製品の角に右脇腹を強打し負傷した。	53	417	2	10～29
2017	2	16～17	集成工場内の4面ホルダーで材料の切削作業中、機械の定盤の上に付いた物を取ろうとした際に、回転している刃物に左手前腕が接触した為巻き込まれてしまった。	57	139	8	30～49
2017	2	14～15	クレーンで作業中、吊っていた丸太のハサミが外れ丸太の下敷きになった。	57	212	6	1～9
2017	2	16～17	当社工場内で製材の補助作業をしている時に木屑を取ろうと下を向いた時に、バックして来た送台車のヘッドに当たりそのまま反対の	47	132	6	1～9

			頭部を製材機にぶつけた。				
2017	2	12~13	クロスカット機（自動送材横切り機）にて手動で木材（45mm×35mm×1000mm）をカット作業中、丸ノコの近くに前工程で残っていた端材（45mm×35mm×10mm）が丸ノコで反発して右目を負傷した。作業時、直前に寸法セットの為に解除していた安全カバーを閉じるのを怠っていた。	33	131	4	1~9
2017	2	9~10	工場内で、フォークリフトから降りる時、下の角材で足首をひねり、負傷した。	45	222	19	1~9
2017	2	14~15	加工棟プレーナーラインの含水率欠点材搬送ラインにて、欠点材排出作業中、搬送ラインのスプロケットに作業者の左腕部が引っ掛かり、駆動中のシャフトに人体が接近できる状態にあった為、逃れようとした際に左手人差し指の第一関節より先が巻き込まれ、引き抜いた際に切断した。	42	121	7	10~29
2017	2	14~15	加工棟プレーナーラインの含水率欠点材搬送ラインにて、搬送ラインのシャフトに巻きこまれた社員を救出しようとして、搬送ラインのシャフトに（目撃者不在の為、未確認）、右上腕部から先を巻き込まれ切断した。	58	121	7	10~29
2017	3	14~15	工場敷地内で作業中、泥で足を滑らせ地面においてあるU字溝に足がぶつかり、右足親指骨折した。	32	416	3	10~29
2017	3	10~11	製材工場にて挿除をしようとして、エアガンのホースに左足を引っ掛け転倒し負傷した。	71	169	2	10~29
2017	3	11~12	木材加工機械（バーカー）から丸太が流れてくる際に、バーカーに丸太が詰まらないようにとびで丸太を機械の外に抜く作業をしていたところ、丸太に引っかけたとびを力を入れて引っばったところ、丸太からとびがはずれ、その勢いで90cmの高さの作業台から転落し、アスファルトの床に腰を強打した。	79	371	1	1~9

2017	3	14~15	工場内で、廃材をオガ屑製造機に入れオガ屑を作る作業中、廃材が食い込み機械が動かなくなったため、押さえをチェンブロックでつり上げ廃材を取り除いた後に、少しの材が残っているのに気づき送りローラーで押し出そうとローラーのスイッチを入れようとしたところ、鋸のスイッチを押して作動させてしまったため、右手指と甲が鋸に触れ負傷した。	65	139	8	1～ 9
2017	3	9~10	工場内にて製材品の送材車テーブルでの作業中、製材品を移動するためのローラ（送り）に切りおとした廃材が引っかかり、取り除こうとした際にスイッチに手が触れ、ローラが下がり、右手を挟んだ。	74	132	8	1～ 9
2017	3	16~17	工場内で機械を使用して木材を加工する際に、機械に設置されている刃物に付着したゴミを取り除こうとした。電源を落とさずに作業を行ったため、手を挟み右手親指と人差し指の間を切傷した。	55	131	8	50 ～ 99
2017	3	15~16	4tユニック車で木材を積荷作業中、木材をワイヤーロープで吊り上げていたら、急に木材が前後左右に回転したため身体が飛ばされ、車の高さから落下した。落下した場所が切り株で足場の悪く、骨折を負った。	79	212	6	1～ 9
2017	3	10~11	角材を動かし選別していたとき、角材の間に浅木がかっているのをノコギリで切っていたところ、角材が左足首に倒れかかり動けなくなった。	59	522	5	10 ～ 29
2017	3	13~14	会社敷地内にて、建前材料の積込を1人でやっている時、台を移動させようと足に力を入れた時に、力の入れ方が悪かったのか肉離れを起こして動けなくなった。	52	921	19	1～ 9
2017	3	15~16	事業場内で、次の段取りを話しながら、木材を手押しカンナで削っていて、材料の長さがもっとあると思って手を出したところ材料がなく、左手中指を削ってしまった。	45	364	8	10 ～ 29
			リングバーガー（丸太皮むき機、高さ1.5m位、5～6段のはしごで台				1～

2017	3	16~17	に上って作業)の作業中、機械に溜まったゴミを掃除していて後方に下がったところ、台を踏み外し地面に転落し、胸を強く打った。	68	139	1	9
2017	3	8~9	工場で屋根加工をしているとき、フリークロスで安全カバーはついていないが、ノコが上がりきっていなかったため安全カバーの下に手が入り、ノコの空回りに軍手が絡まってしまい、右手甲の親指付け根から手首にかけて11針縫うケガをした。	34	131	8	30 ~ 49
2017	3	9~10	台車で丸太を製材していて、それを台車から降ろす時、重いので二人でさげていたが、手が滑って落としてしまい、左手人差し指を挟んだ。	28	522	4	1~ 9
2017	3	13~14	本社工場加工場で、手押しカンナ盤を使用し1m40cm位の材木を加工している際、途中で引っ掛かったので手前に引っ張ったところ、木材が跳ねてその拍子に手袋が刃に巻き込まれ、慌てて手を引いたが左手小指先を怪我してしまった。	24	364	7	10 ~ 29
2017	3	8~9	製材機の所で原木を製材中、原木がずれないように右手で押さえて切っている時、通常は鋸手前20cmの所で手をどけるところ、鋸まで手を持って行ってしまい右手親指を負傷した。	69	132	8	30 ~ 49
2017	3	16~17	木材を製材するギャングプレーナで丸鋸の掃除をしようとして、2枚の丸鋸のうち、手前1枚は静止し、奥の1枚はまだ惰性で回っている状態で、手前の鋸が止まっているので奥も止まっていると思い込み、手が丸鋸に当たり裂傷した。	32	131	8	1~ 9
2017	3	15~16	木材加工工場において、被災者は長さ4m・末口12cmの厚木を丸棒削機で製材加工を行っていた際、機械を通った製品(4m直径10cm)がローラコンベアで停滞していたので、荷台に製品を移動させようとしていた時、次に機械を通ってきた製品との間に挟まれ、右手小指を負傷した。	57	139	7	1~ 9
2017	3	11~12	事業所作業内において、チップの搬入口に大きい端材が引っ掛かっていたので機械のスイッチを切った後、止まったことを確認し、引っ掛かっている端材を取ろうとした際に端材と鉄板の角に指を挟	64	522	7	10 ~

			み、右手第2指を負傷した。				29
2017	3	10~11	本社工場内で原木皮剥ぎ工程中、剥ぎ取った皮を搬送するベルトコンベアに皮が引っ掛かった為、それを取り除こうとしていたとき、左腕をコンベアに引き込まれ、左肘前後15cmの範囲と左肩を負傷する。	66	224	7	10 ~ 29
2017	3	9~10	木材を製材する為、製材機（木棺）を向こう側に立たせ、製材品を受け取る作業をさせていたところ、ローラーと製品の角で指をはさまれ負傷した。	29	132	7	1~ 9
2017	4	13~14	工場内丸太皮むき作業場で、皮をむき終えた丸太を受木台に落とす際、勢いがついて弾んだ丸太が受木台の上を転がり地面に落ちた。その丸太をローダーで拾い受木台に戻したが、端の方に置いた為、小石等異物を取り除いている時に丸太が転がり、台から左足に落ちた。	56	224	4	10 ~ 29
2017	4	11~12	本社工場にてカラ松の製材作業中、角挽きツインソー（1号機）の作業者が、送台車のレールにヤニが付いて動きが鈍くなったので油をさしていた時、テーブルツインソー（2号機）の作業者が製品置場に材が溜まっていたので材を戻したところ、油をさしていた作業者の右ふくらはぎ部分が戻した材と製材品送りのアングルに挟まれ負傷した。尚、1号機の作業者と2号機の作業者の間に機械があり死角になっており、お互いの姿が見えない状況になっていた。 ※製材の流れ：角挽きツインソー（1号機）→テーブルツインソー（2号機）	35	522	7	1~ 9
2017	4	16~17	原板の近くで掃除をしていた時、リフトで原板を移動する為に持ち上げたとき、原板の下の方が崩れて被災者に当たり、体勢を崩し動けなくなった。	46	222	5	10 ~ 29
2017	4	17~18	工場内において製函作業中（エアー式の）釘打ち機を使用していた。打ち込んだ時に釘打機の先端が下に敷いていた鉄板に当たり、跳ね返った様になり誤って釘を右足の上に発射し、安全靴を着用し	60	364	8	1~ 9

			ていたが貫通してしまった。				
2017	4	14～ 15	仕掛品を搬送装置で搬送するとき、中間の傾斜チェンコンベアのモーターのチェンが脱輪したので修復し、現場から離れる際にモーター取り付け台角に右大腿部を強く打ち、3cm位切傷する。	88	224	3	1～ 9
2017	4	11～ 12	自動カットソーの投入口で、木材を投入し、スタートしたので、次の材料を投入しようとした時、その先端部が、動いているスターターガイドに当たり押し戻された為、握っていた部分が、手をはなれ、陰のう部に当たり負傷した。また、左手の親指付け根の筋肉にも当たり打撲した。	34	139	6	10 ～ 29
2017	5	13～ 14	木工場でライブローダーのオペレーターをしていた時、木材がライブローダーに詰まったのでそれを取ろうとした時、ライブローダーの手前にライブローダーを動かすチェーンがあり、チェーンを止めてから詰まった物を取らないと危険であるが、止めないで詰まった木材を取っていたところTシャツがチェーンにからみ、チェーンに体が巻き込まれた。	23	224	7	1～ 9
2017	5	16～ 17	当社第3工場の焼却炉にて、ごみを焼却するために炉内にごみを運んでいたとき、炉内には火が無いことを目視で確認していたが、ごみの中に引火性の高いものがあつたことにより、炉内に既にあつた燃えカスから引火して突然燃え上がった。その際、顔の右側及び右腕に火傷を負った。	35	512	11	10 ～ 29
2017	5	9～ 10	工場内にて製材作業中、挽き終った製品を送材車に載せる時に誤って送材車のテーブルの角と製品の間に指が挟まった。	27	229	7	1～ 9
2017	5	11～ 12	製材工場敷地内にある原木大割り挽き工場内において、スタッカー工程で作業していたが、段取り替えのためスタッカーでの作業が手空きになったため、横バンドソー設備の搬入送材チェーンした掃除の目的で、RT1号/2号兼用廃材幅広コンベアを経由して移動していた。動いているコンベアの上を歩いて渡り、コンベアから降りる時に（段差約20cm）右足を捻ってしまった。	20	921	19	50 ～ 99

2017	5	13～ 14	会社構内にある、おが粉製造機械の上部シュートに木片が詰まり、手を差し伸べ取り除こうとした際に、誤操作により、材押さえ部分に左上腕を挟まれた。	58	139	7	10 ～ 29
2017	5	13～ 14	工場内のバンドソー機で木板（ゴム集成材、3200×135×25）を1人で加工（中カット）中に、途中で木板が入って行かなくなり、とっさに右手で板を押そうとし、誤って刃に接触し負傷した。	33	132	8	1～ 9
2017	5	14～ 15	作業中、製品を手にとって移動させようとしたら、お尻の辺りに痛みを感じた。	77	921	19	1～ 9
2017	5	13～ 14	会社の西倉庫（木材保管場所）より、建前用木材を準備中に、高さ3mの所から木材（長さ4m×厚さ3cm×幅22cmの杉板4枚）と共に落下した。木材を取り出す時に木材が揺れたので、とっさに止めようとして落下し、下にあった木材に右脇腹を強打して腰部挫傷、右肋骨部骨折を負ったものである。	69	522	1	1～ 9
2017	5	9～ 10	製材工場内で、製材した木材から4m×4.9cm×2.1cmを作るため2人で作業中に、下に置いてあった木材の隙間に足を突っ込んで倒れ、足首が曲がって負傷した。	52	522	2	1～ 9
2017	5	16～ 17	工場内においてパレットを搬入する時、フォークリフトの爪を動かしていたときに爪が外れ、右足に落下した。	73	222	4	1～ 9
2017	5	9～ 10	切断された製材を受取作業中、コンベアからチェーンローダへ流れずに製材が引っ掛かった。通常は機械を止めて反対奥側の階段をのぼって取り除き作業をするところが、コンベアのステージからチェーンローダのレールへ右足をかけて製材を取り除いた。体勢を戻そうとしたところ、左足がステージ上を滑り背中から転落し、後頭部と背中を強打した。	55	224	1	10 ～ 29
2017	5	17～ 18	倉庫内において、フォークリフトに乗って積み込み作業をしていたとき、リフトから降りる際に厘木（短い木の棒）の上に足を着いたため、左足首を捻り骨折した。	49	522	19	30 ～ 49

2017	5	16～ 17	被災労働者が木材を左右に移動する機械下の床を清掃中と知らず、他労働者が別場所から左移動のスイッチを押したため、機械補強部分と木材の間に右肘を挟み負傷する。本来なら一斉に清掃時間に入るが、被災労働者の都合により1人だけ早い時間から清掃作業に入る報告をしていなかったことや、確認不足が原因と考えられる。	27	224	7	10 ～ 29
2017	6	16～ 17	加工場において、3人でカンナ掛けをしていた際、電動カンナで角材を上から押しつけカンナ掛けしている最中に、木材の先端を持っていた右手が滑り、手袋のまま巻き込まれ、右手人差し指第一関節より切断した。	42	133	8	1～ 9
2017	6	16～ 17	当社工場内ギャングプレーナー（製材加工機）を清掃中、チェーンに挟まった搬送された木片を取り外す時、右手中指と薬指を負傷した。	53	224	7	10 ～ 29
2017	6	14～ 15	住宅建築現場へ木材の搬入作業時に、荷下ろしを終了後、荷台より地面へ降りる際に、左手を荷台に置いて跳ね降りた時に、荷台の床板止めビスに左手薬指に付けていた指輪が引っかかり、同時に体重がかかった為に負傷した。	29	221	3	30 ～ 49
2017	6	15～ 16	工場内において、パレット製造過程における釘打ち作業中に、誤って鉄砲釘打機のアアホースに足をとられ、その際に釘打機から釘が発射し、右足を受傷した。	24	391	8	30 ～ 49
2017	6	14～ 15	製材所工場内で木材の選別及び結束の作業中、作業台の製品を押し上げようと踏ん張った際に、右足脹脛に激痛がはしった。	46	522	19	10 ～ 29
2017	6	9～ 10	工場内において、踏み台（高さ約70cm）の上に乗リサンダー作業中、その作業が終わったため踏み台から下りようとしたところ、足を滑らせ、そのまま後ろに倒れそうになったので、咄嗟に床に左手を着いた際に負傷した。	57	371	3	30 ～ 49
2017	6	11～	チップ加工場でチップの刃物を交換して、調節のためついている羽を動かした時、カバーと羽の部分に右手を置いていたので、親指を	60	169	7	50 ～

		12	挟まれ負傷した。				99
2017	7	10~11	カンナ掛けの台へ10.5角をのせて押しながら流していく作業中に、地面より10センチくらいの上り台より右足を踏み外し、角材の角に左わき腹を強打し負傷した。	43	522	3	1~ 9
2017	7	9~10	丸太皮ムキ作業中、丸太を転がすためにトビをかけたが、外れてしまいその勢いで作業台から回転して転倒・落下。その際に階段に後頭部を打撲。	49	416	1	10 ~ 29
2017	7	11~12	製材工場のローラーテーブル式帯のご盤で木材を製品に加工する作業中、仕切り板に端材が引っかかり、その端材を取ろうとして左手人差し指が刃に触れ負傷した。	63	132	8	10 ~ 29
2017	7	13~14	工場内で清掃作業の最中に、材料投入レーン（高さ800mm）から横に設置してある台（高さ520mm）に足を運んだが踏みはずし足首から落下。	49	169	1	50 ~ 99
2017	7	14~15	工場内で耳たちの機械で前取りをしてたところ、機械の搬送に挟まれて右手小指を負傷した。	53	131	7	30 ~ 49
2017	7	16~17	パネル加工釘打ちラインで製品の検査をしている時に釘打ち加工後の小さい製品が製品排出ローラーに出てこなかったので電源を入れたまま釘打ちラインと製品排出ローラーの間に右足を入れ製品を取ろうと手を伸ばした時に釘打ちラインが戻ってきて、釘打ちラインに付いている釘打ちユニットの原点部がセンサーと背品排出ローラーに付いている原点スイッチ（センサースイッチを押すため先が尖っている）に挟まれそうになったので逃げたが、逃げ切れず右足頸骨辺りを挟まれた。	22	169	7	30 ~ 49
			当社構内にて、木材を配送する準備の作業中、2t、トラックに木材を積み込みロープで、荷物を固定するため、ロープを引っ張った際、ロープの先端がフックにしっかり掛かっていなかったため、ト				10

2017	7	11~12	ラックの荷台約1m位の所より落下、後頭部を打撲、コブの傷ではありましたが、頭部のため、受診した。頭部には、検査の結果、異状はなかったが頸部から、背中に痛みがあり、暫く矯正に通院する事になった。	38	221	1	～ 29
2017	7	16~17	工場内に於いて、廃材コンベア（幅約30cm、地上高35cm）で異音が出たため、音の出所を確認していた。廃材コンベアの横にあるカバーをめくって、右腕を差し入れたところ、ベルトコンベアのローラーに右腕が巻き込まれ、負傷した。	39	224	7	30 ～ 49
2017	7	10~11	工場内で厚さ1.5cmの板の端材をリフトに積む作業をしていた時、リフトの先端に右足をつっかけて負傷した。	53	222	2	10 ～ 29
2017	7	5~6	工場内のNC加工機でCLTの成形加工を行っている時、NC加工機のルーター部動作中に機械を停止せずに寸法の確認を行ったために、ルーター軸に追従してきた丸鋸刃（停止中）で右腕を負傷した。	33	131	8	100 ～ 299
2017	7	18～ 19	本社工場内で機械を横切機でカットする作業中、カット後の端材の除去処理をしようと右手で材料を押え左手で除去する際、誤って足でフットスイッチを踏み安全カバーが下がり、材料との間に手が挟まれ丸鋸が上がりて右手親指を切断した。	57	131	8	50 ～ 99
2017	7	10～ 11	当社にて、カッターでひもを切ろうとした際に、勢い余って右の太ももを切ってしまい負傷した。	28	364	8	1～ 9
2017	7	15～ 16	木材置場において、商品である木材を高さ2mのところから取り出すとき、足場にしていた木材がぐらついたため、危険を感知し飛び降りたところ、右足踵を負傷した。	46	522	3	10 ～ 29
2017	7	15～ 16	工場内で、長さ4,000mm・幅45mm・厚さ18mmの杉木材製品を、長さ1,000mmにカット作業中、体調不良となり、休憩所にて休んでいたが回復しなかったため受診した。	77	715	11	1～ 9
		13～	本社工場内において、木材および廃材を焼却炉に反復して出し入れ				10

2017	7	14	する作業の中で、突然風が顔面および両手全般に触れ、その際に顔面および両手肘付近を火傷する損傷を受けた。	39	341	11	～ 29
2017	7	11～ 12	トラックの荷物のラッシングを外したとき、その反動で足を滑らせ落下し、胸を強打した。	41	221	1	30 ～ 49
2017	7	11～ 12	土場にて、トラック荷台のボデー板の張替えのため板を剥がしているとき、インパクトドライバーでビスが抜けなかったため、バールで板を剥がしていたところ、かけていたメガネの隙間からビスの破片が飛んで来て、右目に当たったものである。	58	521	4	1～ 9
2017	7	14～ 15	工場倉庫の屋外製品置場の緑地帯にて、立木（樫）を伐採するため、まず伸びた枝を落とし、その後に立木を根元から伐採する手順であった。しかし、枝（長さ4.4m、径50cm）を切り落とす際、手鋸で切った枝が近くのリングパレットの上に落ちた。伐採者は被災者に声かけを行ってから枝を落としたが、真下で梯子を支えていた被災者の顔に枝が直撃し負傷した。	53	712	4	100 ～ 299
2017	7	13～ 14	丸太を割り板にするため、作業台の上で作業をしていたところ、作業台の反対側に木くずが詰まってきたので処理しようと移動した際、足が滑り前のめりに転倒し、右足付け根部を打撲した。転倒後、痛みはあったが作業に従事していたところ、後日、右足が上がらなくなった。	38	132	2	1～ 9
2017	7	16～ 17	製材工場ライン内のチップパー工程（木材粉碎機）で作業中、木屑搬送用ベルトコンベアーに木屑が挟まったので取り除こうとしたが、ベルトコンベアーを停止せずに素手で取り除こうとしたため、ベルトコンベアーに右前腕を巻き込まれた。	26	139	7	10 ～ 29
2017	7	14～ 15	工場内でスタンション切断中に、切断して落としたスタンションの脚部分が地面から跳ね返ってしまい、安全靴の金属のない部分（右足背）に落ちた。	52	521	4	30 ～ 49
			事務所作業場において、完成した垂木（縦4m×横45cm、重さ約5				

2017	7	14～ 15	kg)を結束後、2人で運搬するため、中腰になり製品を抱え移動したとき（この日は約800回この作業を繰り返した）、以前より違和感があつた腰に痛みが発生した。しばらく様子を見ながら業務を続けていたが、後日、動けないほどの痛みが発生した。	40	522	19	10 ～ 29
2017	7	13～ 14	製材工場内にて、2m横バンドソーで作業中、背板リターンデッキのチェーンがレールから脱線した。その際、チェーンを稼働したままトラブルを処理しようとしたため、チェーンとスプロケットの間に右手薬指を巻き込み、爪の根元から切断した。	23	139	7	50 ～ 99
2017	9	10～ 11	機械（トリマー）で長さ3650m/m材3000m/mにカットしていたところ、端材を処理するベルトコンベアにカットした材料が引っかかりそれを除去する為、一段下に降りる時足元に気をとられ、右手が廻っている丸鋸に触れ、薬指小指を切断した。	30	131	8	50 ～ 99
2017	9	9～ 10	第一工場の製材工場内にある製材送りローラーの設置している、被災労働者が製材送りローラーより落ちそうになっていた重い製材品を送りローラーに戻そうとしていた。被災労働者が作業をしている時、送りローラーに押し戻そうとしていた重い製材品が倒れてきた。送りローラーの端に左手をのせ、重い製材品と送りローラーの端の間に左手中指を挟み、左手中指の先を1cmくらい潰す傷を負った。	45	522	7	10 ～ 29
2017	9	10～ 11	当社トラックIH車で、建設現場敷地外に行きクレーンで積荷製材を降ろす作業中、手がバンドに挟まれたまま吊り上げられた為、身の危険を感じバンドから手を抜いたことから積荷製材荷台に落ち右足踵負傷。	53	211	1	30 ～ 49
2017	9	14～ 15	背板の仕分け作業中、大きめの背板をひっくり返したところ、左手首を捻挫してしまった。怪我をした当日、痛みはあつたが仕事を続けた。	49	921	19	10 ～ 29
		17～	会社工場内で搬出資材をフォークリフトに集積作業中、集積用工具が走行先に置かれていたため、片付けようとフォークリフトから降				10

2017	9	18	りる際に、足が運転席脇の変速機部に当たり、バランスを崩した状態で落下し、左肘、左手を打撲した。	55	222	1	～ 29
2017	9	5～6	早朝から投入作業中、被災者（実習生）実習生の3名で横架材4000番の掃除作業を始めた。通常通り投入作業者が投入側掃除を終え、五軸加工機付近の掃除まで手伝い、40分後に終了。再稼動のため投入作業者が投入側に戻って運転信号を出したところ、五軸加工機から実習生の叫ぶ声が聞こえ、見に行くと被災者がB軸の機械部と支柱の間に挟まれていた。救出後、被災者の意識がなかったため、救急車を要請し病院へ搬送した。	30	139	7	100 ～ 299
2017	9	14～ 15	工場内にて、丸太を製材機にて切断作業中、機械のローラーに丸太の皮が引っ掛かっていた為、取ろうとして誤って指を巻き込んでしまった。	65	132	7	—
2017	9	22～ 23	入力ミスによるトラブルが発生し、ラミナ（集成材原材料木材）を再度流すための作業を行うため、コールドプレスの機械に上った時に足を滑らせ落下、その際、頭と背中を負傷した。	18	139	1	30 ～ 49
2017	9	10～ 11	ツイン帯鋸盤で作業中、休憩時間がきたので、手袋を外し、休憩の用意をしていたが、丸太が入れ替わる事に気付き、全て終わってから休憩しようと作業を続けていた、その時、自動丸太切りが下がっていなかったため、原因を追究する為、まずチェーンソーが回転しているかを確認した後、駆動モーター側のVベルトが回転していないものと勘違いし、無意識に右手でVベルトを掴んだが、実際は回転していた為、モーターとVベルトの間に右手中指が挟まれ、負傷した。	40	121	7	50 ～ 99
2017	9	7～8	工場内の搬送システム第2ローラー部のフレーム上で、始業準備のため第2ローラー部の向こう側にある、自動端切り部にオイル差しをするため、第2ローラー部を横切ろうとした、第2ローラー部のチェーンカバーが滑り易かったため、その上で足が滑り、反対側のフレームに主に右胸を強打、滑ったチェーンカバー側のフレームに左膝を	60	229	2	1～ 9

			強打した。				
2017	9	11～ 12	木材加工用モルダのハナ取り中、木材加工用ダストの吸い込みを確認するために加工機の刃と接触し、左母指の皮膚を欠損した。	55	133	8	10 ～ 29
2017	9	16～ 17	横バンドソーでカバーを外しチェーンに油を差していた、チェーンに杉皮片が付いて回っていた、それが気になり指でつまみ取ろうとして、チェーンとギアの間に指先を挟んだ。	33	132	7	10 ～ 29
2017	9	23～ 24	加工済み後の木材加工場において、カッターナイフ使用し、右手で木材片の除去作業中、急いだあまり、当該カッターナイフにより、左手甲部親指付近より裂傷。本来はノミにての作業が適切である。	38	364	8	30 ～ 49
2017	10	17～ 18	製材工場で、横切機でフローリング原板のカット作業中、チップソーが戻るの確認しないまま原板を横切台から下ろそうとして、誤って左手をチップソーに触れ左手人差指を負傷する。	53	139	8	10 ～ 29
2017	10	16～ 17	BOセット用に、ハンドソーでカットしたゲタ材を取ろうとした時、まだ惰性で回転していた鋸の刃に右手の甲が接触し負傷した。	36	131	8	10 ～ 29
2017	10	9～ 10	製材工場内でオートテーブル（製材機）作業中、機械に異常があったので確認のため、製材機の製品台に上がり異常を直そうとした時、つまずき転び背中を打ってけがをした。	62	132	2	1～ 9
2017	10	8～9	工場でフォークリフトのバケットに入れていた製品を本人がまとめて結束していたところ、社長がフォークリフトのバケットを固定せずに移動した際、リフトのツメからバケットが台車に滑り落ち、その台車が動いて台車と機械の間に左足をはさまれ負傷した。	72	362	3	1～ 9
2017	10	13～ 14	3000m/m×650m/mの樺丸太を100m/mに挽き落ろしの作業中、製材機の台車に落下防止の矢を入れて挽き割りしていたが、最後の盤の挽き割り中、2ヶ所の内1ヶ所にしか矢を入れず、左足親指に落下させてしまい骨折した。	39	379	4	1～ 9

2017	10	14～ 15	支店の構内で、リフトで木材を移動して降ろしている時に、リフトが動いて足が轢かれた。	41	222	7	—
2017	10	8～9	当事者は、当社第二工場のカットした製品を搬送するコンベアの外れたチェーンを修復していた。しかし同時に作業していた別の従業員が、このチェーンを作動させるセンサーに触れたため、チェーンが動き出し指を挟まれた。	38	224	7	10 ～ 29
2017	10	16～ 17	会社工場内作業場において、合板集めの作業中にバック運転で走行してきたフォークリフトに、通路付近で後向きにて作業していたために近づいてきたフォークリフトに気付かず、フォークリフトに右足首を踏まれ打撲した。	69	222	6	50 ～ 99
2017	10	6～7	運転中、荷物のビニールがはがれそうになった為に、停車して処理後、車に戻る為に、歩道から車道に移る時に、足を滑らせて横転して右肩を強打する。	62	417	2	50 ～ 99
2017	10	11～ 12	トラック荷台に乗せた木材の上（高さ2.5m）に乗り、木材を縛ったスリリングベルトの位置を少しずらそうと右足で蹴り寄せようとしたところ、蹴った力の反動でバランスを崩し、落下した。	51	221	1	10 ～ 29
2017	10	13～ 14	倉庫でトラックに木材を積み込みしている時にロープに気をとられ荷台より落ちて胸を打った。	35	221	1	1～ 9
2017	10	9～ 10	製材工場の中で木材の整理をしていた時、木材につまずいて転んだ。	59	522	2	1～ 9
2017	10	8～9	リングパーカーへの投入の作業に従事している被災者が、投入後、投入口手前に落ちた皮が気になり、レイキを使ってかきあつめていたところ、スラッシャー上の一本がころがり、ストッパーをこえて、片方が落下、ちょうど真下にいた被災者の頭部に当たり、負傷した。	70	522	4	30 ～ 49
2017	10	16～ 17	杭木の先を落としていたところ、長かったので、杭木を横にし長さを揃えようと切ったら、右手にはめていた手袋の親指部分が丸側に	47	131	8	100 ～

			巻き込まれ親指の先を切断した。				299
2017	11	15～ 16	皮むき作業中、丸太の径級が見えなかったため機械を動かしたまま、コンベアで流れてくる丸太の径級をとっていた。スケールをあてて径級をとった時、丸太が急に止まった為、コンベアの爪と丸太の間に右手の人差し指と中指を挟んでしまった。	55	224	7	30 ～ 49
2017	11	9～ 10	作業場で、製材した木材の移動中、被災者が、運転者が積み上げようとしていた荷物と別の荷物の間で、前に屈みこんで作業をしていた時、運転者が被災者に気付かないまま荷を持ち上げたところ、バランスが悪く荷物が被災者の右側から崩れて来たため右足を負傷した。	41	611	5	1～ 9
2017	11	11～ 12	作業場で、送材車から流れてくる板（長さ12尺）を、6尺の長さに切る作業中、誤って丸鋸に手が触れてしまい、右指（第4、5）を負傷した。作業中、手袋は着用していた。	37	131	8	10 ～ 29
2017	11	14～ 15	工場内にて測量杭の製作作業中、機械に杭が詰まってしまい機械が停止した。詰まった杭を取り除いたが別の箇所にも杭が詰まっており、機械が動かなかったため別の詰まっていた箇所の杭を取り除いたところ杭と機械のレーン部分の間に指を挟んでしまい受傷した。	54	139	7	10 ～ 29
2017	11	10～ 11	受注品の納品のため取引先に行った時、取引先の入口の段差に躓いて、ドアに肩からぶつかり、背中を打撲した。当日は痛みを我慢して業務を終了し、翌日病院で受診した。	56	712	4	1～ 9
2017	11	11～ 12	荷物の上げ下ろし作業中、脚立より足を踏み外し、負傷した。	74	371	1	1～ 9
2017	11	17～ 18	自社木材製材工場において、木材の整理中、クレーンで吊り上げた木材が転がって落下し、胸部が圧迫され死亡したものと見られる。	76	522	4	1～ 9
2017	11	14～ 15	工場内にて丸太の製材機で作業中、丸太を機械で挟む際に、誤って指も挟んでしまった。	76	522	7	1～ 9
		16～	梱包材打上工場内で古パレットを直す為、板を外している時、板を				10

2017	11	17	外す勢いでそばに外して置いていた釘が付いたままの板を踏んでしまった。	23	521	9	～ 29
2017	11	16～ 17	木製パレット補修作業に第2工場に従事している時に、1400×150×22の木板（2kg）1枚を足の甲に落とした。安全靴は履いていたが保護プレートの無い部分に高さ1mから自身の手で持っていた板を滑らせて打撲した。原因：仕事終了直前で相手作業者との呼吸が合わず、タイミングが狂って手が滑った。	52	522	4	10 ～ 29
2017	11	20～ 21	クライムコンベアのシャフト取り替え工事作業中の事故である。機械を停止させ、シャフトの取り替え作業を行っていたが誤って同僚が機械の起動スイッチに当たり、コンベアが起動し、右足を乗せていたバーが動き出して、足がそのままバーと一緒に動き出し、シャフトとバーの間に挟まれてしまった。すぐに機械を停止させ、怪我の様子を見て重傷と判断し救急車を要請した。（右足関節開放性脱臼骨折）	46	224	7	50 ～ 99
2017	11	16～ 17	木製品の加工のためチェーンソーで原木を切っていた時、チェーンソーを回転させたまま、原木を移動させようとして、左足膝を切創した。	59	136	8	1～ 9
2017	11	11～ 12	お得意先の工場で、木材の配達をしている時、木材（長さ4m、10kg以上）を1人でトラックから置場まで運び、積み上げている時に、高さ1.8m位に積み上げ中に左手首をひねり痛めた。	41	522	19	1～ 9
2017	11	8～9	工場内において、リングバーカー（皮はぎ機）の始動前の点検時に、縦送りローラーにオイルを注入していて、足を近づけ過ぎたのでローラーに巻き込まれて、負傷した。	52	139	7	10 ～ 29
2017	11	11～ 12	工場内で、10t車トラックに製品を積み終えて荷締機バンドのフックを掛けようとして、靴を履いていなかったため（製品が汚れないように）、バランスを崩し、トラックの製品の上から滑り落ちて、負傷した。	50	221	1	10 ～ 29
							10

2017	11	16～ 17	会社の作業場でリフトに移動する途中に、材木の剥いた皮に足をとられ転倒し、左肩を強打して、左鎖骨を骨折した。	54	417	2	～ 29
2017	12	11～12	皮剥き機の皮出しベルトコンベアのローラーに氷が付いて回らなくなったので、ハンマーで叩いて落とそうとした時、コンベアを止めていない為、手を滑らせた時に手を持っていかれ、ベルトに手を挟んでしまった。	48	224	7	10 ～ 29
2017	12	15～16	丸太約350mmΦを、厚み120mm、幅300mmに切断後、20mmの板に切断するため、製作機にセットする際、上記寸法の木材盤の間に左手中指を挟み、裂傷及び骨折をした。	64	522	7	1～ 9
2017	12	17～18	当社製材工場で、木材の耳取り等の製材作業に従事していた。両面耳摺機の吸い込み口におが粉や木屑等の細かいゴミが詰まって機械トラブルを起こすことのないように、掃いたり掻き出したりする専用の角材（90cm×4cm×2cm、重さ300gの軽いチップ材）をテーブル上の作業に邪魔にならない場所に置いておくのだが、被災時は、その角材が真っ直ぐでなく、幾分か下側に反れていたため、突然強風が吹いたとき、その反れた部分が軸となり（300gと軽いこともあり）、回転するようにフラフラとして、斜めに（回転する鋸の刃の方に）ずれて入っていった。慌てて元の位置に置き直そうと、角材を手を持った瞬間、角材が回転する丸鋸の刃に触れて、パーンと勢い良く跳ね上がり、耳摺機のヘッドと角材の間に右手を挟まれ、右手人差し指と中指を負傷した。その際、丸鋸の刃は回転していたが、右手から30cm離れた奥の位置にあったので、手は丸鋸に触れていない。被災後直ちに、現認者（直接見てはいないが近くにいた）が被災者の手袋を外して、負傷した手を水洗いし、ガーゼと包帯を巻く等の応急処置を施した。被災時に指は切断されていなかったが、医師が家族（両親）の承諾を得たうえで、切断手術を行った。	41	131	7	1～ 9
2017	12	9～10	土場で角材（約3m×15cm×15cm）を2人で運んでいた。片側を持っている人が角材を置こうとしたところ、被災者は支えきれなくな	37	522	4	10 ～

			り、そのまま右足の甲に落とした。				29
2017	12	13~14	プレカット工場の柱加工機で、ローディング先端の材をつかむ箇所の滑り止めのゴムが剥がれていたため、ビニールテープで補強していたが、テープの先端が剥がれ、下端センサーに反応したので、テープの先端を切ろうと手を入れた際、非常停止等の措置を取らなかったため、ローディングが前進した。その際、右手を上挙げたがローディング先端上部に右手指が掛かり、ローディングの前進方向に持って行かれ、右腕が支柱とローディングの間に挟まれて負傷した。	37	139	7	50 ～ 99
2017	12	11~12	第2工場内の製材機（ツインソー）本体にある製材品搬送機（高さ170cm）で、板材が斜めになり搬送できないため、板材（3m×4cm×12.5cm）を右手で直そうとしたところ、下段にある製材品搬送機（高さ90cm）が回っているのを確認できず、チェーンに挟まれて左手第2指の先を負傷した。	49	224	7	30 ～ 49
2017	12	15~16	帯鋸製材機で板を左に倒す部品の高さ調整をしている際、高さ1mのローラー台の端で作業をしていて、足を滑らせ落ちそうになったとき、右足太ももがダンパーの角に当たり負傷した。	43	224	3	30 ～ 49
2017	12	10~11	耳摺機で作業中、板が落ちなかったので除去しようとして、誤って指（親指）が触れたため負傷した。	47	135	8	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html